

地域とこどもが手をつなぐ場所「Gojo ボランティア」

～仙台市立五城中学校 学校支援地域本部～



五城中学校は、仙台市中央部に隣接する宮町学区の西北端に位置し丘陵地帯を背景に、仙台東照宮や仙岳院などの歴史的遺構を含む地区にあります。学区内には、藩政時代門前町として開かれた宮町を中心に商店街が広がり、東部の小田原学区には新興住宅地が形成されています。

【Gojo ボランティアとは？】

五城中学校では、仙台東照宮のお堀清掃、東照宮境内や児童館で行われるお祭りのお手伝い、地域でのあいさつ運動など、地域に根差した様々な活動を「Gojo ボランティア」として行っています。地域からは中学生の力を借りたいという声が数多く、活躍の場を広げています。

今回取材したのは、北六番丁小学校で行われた「学校に泊まろう」（おやじの会主催）の催しをサポートする中学生の活動です。小学生に楽しんでもらうために、カレー作り・ドラム缶風呂・薪割りのお手伝いから、夜は肝試しの演出・安全管理まで、地域の大人と共に活動を行いました。

こどもの声

笑顔を届けて、自分も笑顔に！

「Gojo ボランティア」の様子



活動の打ち合わせ



小学生の調理をサポート



ドラム缶風呂の湯加減を確認

○調理の手伝いやドラム缶風呂の準備などを通して、たくさん話したことが、少しでも小学生の良い思い出になればと思いながら活動しました。

○薪割りの時に、小学生から「ありがとう」「頑張ってたね」と言われて、頑張ることができました。地域を发展させる活動をしていきたいです。

○地域の人たちや小学生を手伝ったり楽しませたりするだけでなく、自分自身も楽しむことができました。これからもこのような活動があったら積極的に参加していきたいです。

○自分たちで考えたことに対して、感謝されるのはとてもうれしいことでした。

地域の声

「楽しかった」をつないで、次の世代へ！



五城中学校 学校支援地域本部

左:スーパーバイザー 浅野 順美 さん

右:スーパーバイザー 坂井 倫子 さん

今回の「Gojo ボランティア」の活動をサポートした、学校支援地域本部の浅野さんは、「小学生の時に催しに参加し、『楽しかった、次は自分たちが』と思った中学生たちが来てくれていると思います。ボランティア活動に参加するうちに笑顔が増え、授業も一生懸命頑張るようになった子を見られてとてもうれしいです。」と語ります。

坂井さんは、「中学生は役割があるとすごく頑張ってくれます。中学生の力を借りたい地域の声を、スーパーバイザーが学校につなぎ、その思いを先生が受け止めてくださることで活動ができています。」と話してくれました。

地域の方が中学生の力を信頼し、任せる姿が、こどもたちの成長を後押ししているように感じました。

中学生に薪割りを教える、北六番丁小学校「おやじの会」顧問の大泉さん（写真中心）。

「こどもたちの『やりたい』という思い、『楽しかった』という声、そして自分たちも楽しいから、活動を続けていきます。」と話してくれました。



学校の声

こどもたちの成長を、地域とともに



五城中学校の鈴木教頭は、地域との交流活動について次のように話します。

「Gojo ボランティアの活動は、こどもたちが地域社会の一員としての自覚を育むことや、幅広い世代の方々との関わりを通して社会性や人間性を育むことにつながっています。活動をする中で達成感を得たり、地域の方などから感謝の言葉をかけられたりすることで、自己肯定感や自己有用感を高めることができ、いじめの未然防止につながると考えています。」

Gojo ボランティアの活動は、こどもたちが地域で主体的に活動し成長するための貴重な場となっているようです。

【まとめ】

五城中学校の Gojo ボランティアの活動は、地域の信頼を得ており、幅広い世代との関わりを通してこどもたちの成長を支える場となっていました。活動に参加している大人もこどもも、「自分が楽しいから」と言いながら「みんなのために」と生き生きと取り組んでいる姿が印象的でした。それぞれが力を合わせて取り組む姿は、その背中を見る次の世代へと受け継がれていくことでしょう。

こどもたちの思いや行動が、地域に笑顔を広げ、またその笑顔がこどもたちを育てていきます。

